

メラサキューム吸引回路洗浄方法

作成日 2007/2/20

臨床工学部

準備：シリンジ 50ml×2

注入中継チューブ (φ10mm×10cm)

薬液 (160ml)、蒸留水 (190ml)

- 1) MS-008 は、ドレーンタンクのフィルターとタンク底のシートを取り外す。
MS-007 は、ドレーンタンクのフィルターを取り外す。
- 2) ブルーチューブに中継用ケーブルを接続する。
- 3) 電源を ON し、吸引圧を $-50\text{cmH}_2\text{O}$ に設定する。アラームは「消音」または「ブザーサイレンス」を押す。
- 4) 50ml シリンジを用いて、薬液をトータル 60ml で数回に分けて注入する。薬液と共にその都度 30ml 以上のエアを同時に吸入させる。例) 薬液 20ml+エア 30ml×3 回
1 回 30 秒以上かけて行う。
- 5) 薬液注入が終了したらそのままの状態 で 15min 運転する。
- 6) その後、本体の電源を OFF にし、ドレーン内の薬液を廃棄する。
- 7) 本体の電源を ON にし、吸引圧を $-50\text{cmH}_2\text{O}$ に設定する。
- 8) 薬液と同じように滅菌蒸留水を 90ml を数回に分けて注入する。その都度 30 以上のエアを同時に吸入させる。
- 9) 注入が終了したらそのままの状態 で 5min 運転した後、電源を OFF、ドレーン内の蒸留水を廃棄する。
- 10) ドレーン内のフィルター、シートを薬液 100ml に浸漬させ 15min 消毒する。
フィルターが汚れている場合はブラシで汚れを落とす。
- 11) フィルター、シートの消毒が終わると、滅菌蒸留水 100ml に浸漬させ左右によく動かしながら洗浄する。
- 12) フィルター、シートはガーゼ・不織布等でよく水分をふき取りドレーンタンクへ再セットする。
- 13) 本体の電源を入れ 10min 運転する。
- 14) 10min 後、動作確認を行う。

<動作確認>

- ① 排液バッグを付けずに本体の電源を ON し、吸引圧を $-50\text{cmH}_2\text{O}$ に設定する。
- ② ブルーチューブ先端を指で押さえバググラフが $-50\text{cmH}_2\text{O}$ 付近まで上昇することを確認。
- ③ 一度電源 OFF し排液バッグを取り付ける。
- ④ 圧測定用回路で吸引圧を $-10\text{cmH}_2\text{O}$ に設定した時のマンメータの値が、 $-5.9\sim-8.8\text{mmHg}$ の範囲内であることを確認。
- ⑤ 電源を ON にしたまま 6min 以上運転後、再び吸引圧を測定する。
(電磁弁に薬液が流れ込んでいないことを確認するため)